

第一回日本サイエンスコミュニケーション協会

年会開催のご案内

主催：(社) 日本サイエンスコミュニケーション協会

協力：科学読物研究会

NPO 法人「くらしとバイオプラザ2 1」

会場：お茶の水女子大学 共通講義棟2号館 101室 他
(最寄り駅 東京メトロ丸の内線 茗荷谷駅 徒歩10分
有楽町線 護国寺駅 徒歩10分)

サイエンスコミュニケーションの広がり

～サイエンスコミュニケーション活動と社会との関わり～

日本サイエンスコミュニケーション協会 (JASC) では、本年12月1日・2日、お茶の水女子大学にて、第一回年会を開催します。協会員の皆様、サイエンスコミュニケーション (SC) に関わる多くの方々にお集まりいただき、サイエンスコミュニケーションに関する情報交換を行うとともに、今後の在り方について考える場にしたいと思います。

今回は、協会員の方々の日頃の活動の成果、あるいは提言を行う場として、「10分間スピーチ」「ポスター&ミニ実演」、また「自主企画」として、SCのワークショップ実施の準備をしています。日本サイエンスコミュニケーション協会年会を、まさしくコミュニケーションの場とするように、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

日時

12月1日(土) 13:00~16:45 (12:30開場)、

12月2日(日) 9:00~12:40

参加費

- ・協会会員 2000円
- ・サイエンスコミュニケーションに関心のある方 3000円 (協会員以外の方も是非どうぞ)
- ・懇親会費 4000円 *振込 or 当日払い可

★★ お申込み・お問い合わせ：日本サイエンスコミュニケーション協会 年会実行委員会 ★★

準備の都合上、JASCホームページより (<http://www.sciencecommunication.jp/event/annual/20121201/>) Web申込フォームでお申し込みいただくか、年会参加申し込みアドレス e-mail (annual@sciencecommunication.jp) に「JASC年会参加」とタイトルをつけて、氏名、所属、連絡先住所&電話番号、メールアドレス、懇親会参加の有無を明記の上、**11月12日**までにメールをお送りください。

参加費振込先

参加費は年会当日でも可ですが、できれば下記口座に11月12日までに振り込みをお願いします。

<参加費>

会員 2000円 一般 3000円

懇親会費 (会員、非会員) 4000円

<振込先>

三菱東京UFJ銀行 三鷹支店 (店番号222)

普通預金 口座番号：0156830

口座名：年会参加費口 一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会

1日目 12月1日(土)

プログラム

☆12:30 から受け付け
始めます。

- 13:00- ★ 開会
13:05- ★ 基調講演 「サイエンスコミュニケーションの広がりとリスクコミュニケーション」(仮題)
北澤 宏一 (サイエンスコミュニケーション協会副会長 独立行政法人科学技術振興機構顧問)
ナビゲーター: 鈴木美慧 (学生サイエンスコミュニケーションリーダー)
- 14:35- ・休憩
14:45- ★ 「地域に根差したサイエンスコミュニケーション活動」
16:00- ★ 全体会 (事業報告、事業計画、決算、予算等)
17:30-19:30 ★ 懇親会 (懇親会会場は現在検討中です。決まり次第ご連絡いたします)

2日目 12月2日(日)

☆以下の発表の順番は予
定です。当日のスケジュー
ル変更の可能性もありま
すのでご了承ください。

9:00-11:30 ★ 「10分間スピーチ」(研究発表、活動事例発表、その他提言等)
(ステージ上でのスピーチ10分 質疑応答5分 計15分)

- 1) 天文ボランティアを中心としたサイエンスカフェ
ー地域コミュニティづくりのための科学コミュニケーションー (研究)
秋田大学 上田晴彦
- 2) 科学系博物館における継続型教育・学習プログラムの実施、運営マネジメントの状況について (研究)
(公財) 日本科学技術振興財団・科学技術館 田代英俊、小林みか、中村隆、木村かおる
- 3) サイエンスコミュニケーションは学生にどのような影響を及ぼすか (活動事例)
筑波大学 SCOUT 尾嶋好美、仲村真理子、綾塚達郎
- 4) 遺伝子組換え農作物展示ほ場を利用したコミュニケーション活動 (活動事例)
農業生物資源研究所広報室 笹川由紀、猪井喜代隆、野本百代、井濃内順
- 5) 「世界市民会議 World Wide Views」日本大会実施報告 (活動事例)
日本科学未来館 寺村たから、佐尾賢太郎、黒川紘美、池辺靖
- 6) 対話の場は何をもたらしたのか World Wide Views の事例より (活動事例)
日本科学未来館 佐尾賢太郎、寺村たから、黒川紘美、池辺靖
- 7) 放射能についての科学コミュニケーションの効果的な実践のための研究 (その他)
宇都宮大学大学院 教育学研究科 井上直子

★ 「ポスター&ミニ実演」

- 1) 玩具用カプセルを用いた原子・分子模型の開発と実践 (研究発表・実験工作等実演)
九州大学基幹教育院 山田秀人、坂井悠
- 2) 「科学の縁日～科学絵本・本を読むことで広がるもの作りと講演会～」の取り組み
(活動事例発表・実験工作等実演)
科学読物研究会 二階堂恵理
- 3) 地元の地域をつなぐ草の根サイエンス (活動事例発表・実験工作等実演)
野老(トコロ) 実験クラブ 佐藤康子、石島 博、中村恵子、功力芳郎、
科学クラブ・彩ねっと 小森洋

11:30-12:30 ★ 自主企画ワークショップ

- 1) 「石のおしゃべり聞いてみよう」<科学読物研究会 協力企画>
二階堂恵理、市川雅子、古屋ちえり、坂口美佳子、原田佐和子、渡部美帆、林田真治 澤本早苗
- 2) 「DNA粗抽出実験から何を学ぶのか」<NPO 法人「くらしとバイオプラザ21」 協力企画>
佐々義子、笹川由紀、中内彩香、大藤道衛

12:30~12:40 ★ 閉会式



茶の花

お申込み・お問い合わせ: 日本サイエンスコミュニケーション協会 年会実行委員会

annual@sciencecommunication.jp

多くの皆様のご参加をお待ちしています。